

Safer Future ~ 安全な未来へ ~

運輸安全委員会ニュースレター

Japan Transport Safety Board Newsletter

- 事故調査に関する国際的な取り組み 1
- 事故等調査事例（鉄道・船舶・航空） 2
- 事故等調査報告書の公表 / 事故・重大インシデント調査情報 14

事故調査に関する国際的な取り組み

当委員会では、国際機関や各国事故調査機関との積極的な協力・連携や海外での研修活動への参加などさまざまな国際的取り組みを通じて、事故調査の充実と向上に努めています。

本号では、最近の主な取り組みについて紹介します。

国際運輸安全連合（ITSA）への参加



本年5月、国際運輸安全連合（ITSA）委員長会議が台北(台湾)において開催され、後藤委員長ほか1名が参加しました。ITSAは、世界14の国・地域の運輸事故調査機関がメンバーとなっている国際組織で、各国メンバーが実施した航空、鉄道、船舶等の事故調査経験を基に事故原因及び事故調査手法等に関する情報交換を行い、運輸全般の安全性向上を目指しています。



第19回国際船舶事故調査官会議（MAIIF19）への参加

本年6月、第19回国際船舶事故調査官会議（MAIIF19）がポートエリザベス（南アフリカ）において開催され、船舶事故調査官が参加しました。MAIIFは、世界40以上の国・地域の船舶事故調査官がメンバーとなっている国際組織で、船舶事故調査分野の国際的な知見の向上と共有を目的とし、毎年定期的な会合を開いています。



英国クランフィールド大学の事故調査コースへの参加



英国クランフィールド大学で開催されている事故調査コースに、本年は事故調査官3名が参加しました。同大学は、各国の事故調査官等を対象に、長年にわたり事故調査コースを開催しています。当委員会からも事故調査官を派遣してきていますが、本年は航空に加え、鉄道・船舶の事故調査官も参加し、最新の事故調査手法を習得して我が国の事故調査に反映するように努めています。

国際航空事故調査委員協会（ISASI）年次セミナーの日本開催 迫る！

国際航空事故調査委員協会（ISASI）は、世界の航空事故調査・安全関係者の情報交換と技術の向上を目的とした国際組織で、各国の事故調査官や航空会社、航空機メーカー等からの参加を得ており、各国関係者が一堂に会して最新情報を交換するための年次セミナーを開催しています。

今年は、日本では初めて、9月6日～9日の日程で札幌での開催「メインテーマ：調査は ASIA を念頭に—正確性(Accurate)、迅速性(Speedy)、独立性(Independent)、信頼性(Authentic)」が予定されており、現在実施に向けて関係者の間で準備が進められています。

なお、本セミナーには、ISASI 会員以外の方も参加可能です。本セミナーの詳細、参加方法等は専用ホームページからご確認ください。

専用 HP：<http://www2.convention.co.jp/isasi2010/index.html>

